

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム みのり菊水元町		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成22年10月15日	評価結果市町村受理日	平成22年11月25日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170502512&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成22年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・同じ経営者の有料老人ホームが併設しており、合同で行事を行ったり誘ったり、誘われたりと交流を図り入居者様にも楽しんでいただいております。中庭の芝生にもベンチやテーブルを設置し、憩いの場所として使用していただいております。</p> <p>・春から秋にかけてホーム前の畑ではズッキーニ、大葉、さやえんどう、胡瓜など栽培し、花壇には紫陽花、向日葵、秋桜など四季折々の花を楽しんで頂いております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>市内の静かな住宅地の中にある2階建て2ユニットのグループホームである。広い敷地に同一法人が運営する介護付有料老人ホームに併設して建てられている。近くには河川敷の「桜の杜」や米里公園があり、利用者にとって最高の散歩コースとなっている。建物内は広く清潔で、広いトイレやエレベーター、両側から入れる浴槽などバリアフリーの行き届いた造りである。町内会や地域との交流も活発で、利用者は地域の集まりである「ふれあい広場」に参加したり、近隣の幼稚園の行事を見に行っている。また、踊りや手品のボランティアの訪問も受けている。地域の方には避難訓練に参加してもらったり、緊急時の通報先に入ってもらうなど、災害時の地域との協体制も整っている。職員は普段から利用者にやさしく親しみやすく話しかけており、利用者の穏やかで安心した表情を見ることが出来る。同一法人内の社内交流や委員会制度など職員に対する法人のバックアップも整っており職員の定着もよいことから、利用者や家族の安心に繋がっている。また、個々の希望に応じて個別の外出や外食の支援、馴染みの友人との関係継続の支援もきめ細かく行われている。避難訓練などの災害対策や定期的な往診などの医療面の支援体制も整っている。</p>

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当グループホーム理念において地域との交流に重点をおき作成、掲示しており、毎日の朝礼の際、全員で唱和しホーム理念の共有・実践に努めております。	職員が話し合っ作り上げた理念の中に「地域との交流を大切に、明るく思いやりのある家族の心を持った介護で自立を支え」という文言があり、地域密着型としての理念を確立している。理念は朝の申し送り時に唱和され、職員は理念を共有し日々の介護にあたっている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で開催される御花見や運動会、お祭り、近隣の幼稚園の行事への参加等へ積極的に参加したり、近隣のスーパー・美容室などへ日常的に入居者様と外出しております。	お花見やお祭り、ふれあい広場などの地域の行事に参加したり、幼稚園の学習発表会や運動会を見に行ったりしている。また、事業所でもバーベキューや花火大会などを開催し、地域住民と交流している。踊りや手品のボランティアの訪問も受けている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日々の散歩、町内会で開催される催しに参加し、交流を図ることで認知症の方々への理解を伝えることができるよう、また年に1度地域の方々、入居者様、ご家族様などをお招きし地域交流バーベキューを開催し、事業所へのご理解頂けるよう努めております。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、ご家族様、地域の方々より様々なアドバイス、情報を頂くと共に、当ホームが開催する避難訓練にも近隣の方々が参加して下さる等、協力体制作りが心掛けております。	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催され、地域包括支援センターの職員、町内会長、老人会副会長、消防署、利用者家族など幅広い参加を得て活発な意見をもらっている。年間計画や防災体制、サービス評価などのテーマで意見交換しており、議事録は家族に送付されている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は市や区の関係各所との会議等に出席し、情報収集、意見交換に努めると共に、職員も市や道の主催で行われる勉強会や研修等に積極的に参加し、交流、質の向上に努めております。	運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加を得ている。ホーム長が区のグループホーム管理者連絡会に参加し、区の担当者情報と密にしている。また、地域の高齢者SOSネットワークのメンバーとなっている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	地域の交番、近隣の方々ご家族様のご協力を得、夜間以外は施錠せず自由な出入りができるよう、お一人お一人に合わせたケアを心がけ、外出支援に努めております。また全社で身体拘束防止委員会を設置し身体拘束廃止に取り組んでおります。	社内に身体拘束防止委員会を設置し、身体拘束や虐待を防いでいる。マニュアルや研修資料も整備されている。玄関は夜間のみ施錠しており、日中は自由に入出入りできるようになっている。入口にはセンサーがあり、外出者がいれば気付けるようになっている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部にて開催される研修に参加し虐待防止について学ぶ機会を持つよう心がけると共に、社内の虐待防止委員会の設置により虐待防止に対する意識付けに取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し、学習の機会を作ると共に、制度を利用しての方を通じて関係機関の方々、ご家族様と連携を図り、入居者様の権利擁護のため、理解を深めております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の前に面談にて十分に納得されるまで疑問や質問を聞き取り説明を行っております。また、状況に応じて体験入居を行いご理解、納得を頂けるよう努めております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「意見箱」を設置し入居者様、ご家族様からの意見を頂けるようにしております。また日頃から面会時、電話連絡時に直接ご意見を頂けるよう、話しやすい環境作りに配慮しております。	家族の来訪時や介護計画見直し時に意見を聞くほか、運営推進会議に参加する家族にも意見をもらっている。家族の来訪時には、帰り際のタイミングを見て利用者に聞こえないように意見を聞くなどの配慮をしている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は日々のショートミーティング、ユニット会議、全体会議等において職員同士の意見交換の場を設けており、運営に関して相互理解に努めております。	ユニットごとに毎日のショートミーティングや月ごとのユニット会議を開催し、職員間で意見交換を行っている。身体拘束や感染症、車両、安全衛生など各種の委員会があり、職員が分担して自主的に運営している。年2回、職員との個別面談を行い、意見を聞いている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員と話し合いの場を持ち、意見を聞くなど勤務時間の調整、職員の確保に努めております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は外部研修、社内研修に積極的に参加し、報告書を作成するなどレベルアップに努めております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や地域のグループホーム部会の講習会に参加し、他の施設職員との交流、情報交換が行えるよう積極的に参加しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様との対話を大切にし、アセスメントを作成し課題や問題点を明確にし、職員間で情報の共有ができるようにし、ご本人様が安心してできる環境作りに配慮しております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の来訪時、電話連絡時に利用者様の状況をお伝えすると共に、ご家族様の要求、不安点を傾聴し、アセスメントにもご協力頂くことでご家族様と共に利用者様を支援できるよう関係づくりに努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様、ご家族様から相談を受けた時は速やかに面談を実施し、職員間に通知し会議を開催することで利用者様、ご家族様が望まれるサービスを提供できるよう取り組んでおります。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の会話、コミュニケーションを大切にし、入居者様が望まれる生活を汲み取り、お一人お一人の能力に応じたお手伝いを依頼したり、教えを頂き、生活の中で共に寄り添い、暮らすことで関係性を蜜にできるよう努めております。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	初期アセスメントシートの記載にもご協力頂き、ご家族様の意向も汲み取り、共に入居者様を支える一員として支援に参加して頂けるよう取り組んでいます。状況時に応じ病院受診、外出行事の際にも同行して頂いております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、ご友人様等の面会の際はゆっくりと寛げる雰囲気作りを心がけ、電話連絡等も気軽に行えるよう支援しております。また、必要に応じ、利用者様とご面会に来られた方への説明、支援を行っております。	利用者の友人や知人が事業所を来訪したり、手紙の作成や投函、友人への電話かけなどを個別に支援している。利用者が住んでいた家のあたりを一緒に見に行ったり、お墓参りに行くこともある。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他入居者様との交流を大切にし、共に行う散歩や外出、会話の中で互いに関わりを持ち、支えあえる環境作りに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了(死去退去含む)された後も、お花や葉書を贈ったり、ご家族様との関係継続を大切にしております。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様が困惑、不安になっているときやご本人様が解決できない問題は親身になり、ケアに努めております。	言葉で思いや希望を表出できる利用者も多いが、できない場合も表情やしぐさから希望を把握している。利用者の生活暦などの情報はセンター方式のアセスメントシートに記載し、職員間で情報を共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前に面談や前任の担当者より情報を頂き、ご本人様・ご家族様の協力を得て、以前の生活の把握に努めております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式を活用しアセスメントを行い、総合的に一人一人に合わせた生活の支援に努めております。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様、ご本人の意見を汲み取り、ケアスタッフ、介護支援専門員、医療関係者、それぞれの専門分野において意見交換し介護計画を作成している。	3ヶ月または6ヶ月の定期的な見直し期間を設け、介護計画を見直し作成している。見直しにあたってはミーティングで話し合われた結果をもとに次の計画を作成しているが、カンファレンスで話し合われた内容や家族の意向などの記載は十分とはいえない。	計画の見直しの際に、前回の計画に対してどのような介護ができ、どのような評価を行ったか、会議ではどのような意見が出たか、また、家族の意向も再確認するなど、作成プロセスがわかるような書式に工夫されるよう期待したい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりにあったケア記録用紙を作成し、入居者様の情報を共有し介護計画の見直しに生かしております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	行事への参加、定期的に訪問看護師の検診、歯科往診等と行っております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の幼稚園の発表会や運動会への参加、ボランティアさんをお招きし交流を図っております。交番への情報提供、町内会の方々と共に消防訓練を重ね安全の確保に努めております。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の希望を大切に、かかりつけ医の医療機関との関係を築き、往診や受診を支援しています。	提携医療機関による月2回の定期往診があり、週1回の看護師の往診も受けている。個別のかかりつけ医の受診も可能で、家族の対応が難しい場合は事業所で送迎を行っている。受診結果は医療用の申し送りノートに記載し、必要に応じて家族に伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週訪問看護師の来訪時に入居者の状況を報告、相談し、アドバイスを頂き、入居者の健康管理に努めております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者が入院した際はお見舞いに伺い、ご本人様に安心して頂けるよう伝えと共に、ご家族様、病院関係者との情報交換を蜜に行い、入居者の早期退院を目指し協働に努めております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日頃よりご家族様との関係を大切に、重度化見取りに関する対応の指針を説明、ご同意頂けるよう努めております。関係医療機関とも常に連絡が取れる体制を確保しております。	利用開始時に「重度化・看取りに関する指針」を家族に説明して同意書を取り交わしている。過去に看取りまでを行ったケースはないが、事業所で対応可能な範囲を家族に十分に説明し、理解を得ている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に応急手当や初期対応の訓練、研修に参加し急変や事故に対処できるよう心がけております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	社内会議、運営推進会議の中で災害時の対応に関し綿密に話し合いをもち、年2回、日中・夜間を想定した避難訓練を企画し、地域の方々にも参加して頂き、協力体制を築いております。	年2回、消防署の協力のもと昼夜を想定して避難訓練を実施しており、地域の方の参加も得ている。緊急通報装置の自動連絡先に地域の方にも入ってもらっている。また、職員は救急救命訓練を定期的に受講している。	
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人に合わせた対応を心がけ、記録記載時には個人情報が出漏れないよう充分配慮しております。	ホーム長は、名前の呼び方や会話は利用者との信頼関係が築けるまで敬語を使うように指導している。個人情報などの記録はスタッフルームで保管している。面会簿は単票形式にしてプライバシーの保護に留意している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様に合わせた選択の自由、自己決定ができるような声かけ、環境作りに努めております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人の生活に合わせた個別の空間や時間を大切に、安心してできる環境作りに努めており、状況に応じ、臨機応変に対応できるよう心がけております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容や、地域の美容室の活用など、また、入居者が希望される際は一緒に洋服の買い物に店舗に行き、買い物を楽しめるよう、利用者様が望まれる身だしなみ、おしゃれを楽しめるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様が好まれる料理をメニューに取り入れることで食事を楽しんでいただけるよう心がけております。また出前や外食の機会を取り入れております。簡単な調理や片付けなど協力して頂いております。	献立は利用者の希望や季節の食材を取り入れながら職員が作成して、必要に応じて系列法人の管理栄養士の指導を受けている。おしぼり作りや配膳など利用者の能力に応じて手伝ってもらい、楽しく会話をしながら職員も食事を共にしている。お寿司の外食や出前なども楽しんでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の形態、時間、量など個別にあった方法で提供し、食事量、水分量は適宜記載し、状況に応じ捕食や好みの食品の提供など工夫をしております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	定期的に歯科医師・歯科衛生士の往診があり、指導、治療を受けられる体制を確保しており、毎日の口腔ケアはご本人の能力に応じ支援を行っております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人の行動の観察等から排泄時間の把握をしてできるだけトイレで排泄していただけるよう支援しております。また、間に合わなくても不快感をされない様、尊厳を大切にケアを心がけております。	「ケース記録」に排泄時間を記録して排泄間隔を把握したり、利用者のしぐさや表情から排泄を把握してトイレでの自立排泄を支援している。入院によりおむつ使用になった場合も、排泄間隔を把握して声かけすることで、トイレでの自立排泄に移行した利用者もいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や食物繊維の多い食事を提供し、適度な運動ができるよう支援しております。また必要に応じ、医療機関と連携を図り、服薬介助を行っております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの入浴したい時間帯、予定の希望を伺い、その日の健康状態に合わせて、気持ちよく入浴できるよう支援しております。	入浴は14時～16時の時間帯で行っているが、本人の希望により午前中の中の入浴も可能であり、週2回以上入浴できるように支援している。入浴拒否者に対しては、理由を聞いてその状況に応じて言葉かけを配慮して、気分良く入浴できるように支援している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不眠がちな入居者様には内面的に寄り添い、生活リズムの見直し、負担にならないよう調整に取り組む、安らく飲み物、雰囲気作りを心がけております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は一人ひとりが使用している薬の用法、副作用の把握に努め、安全に服薬支援が行えるよう対応しております。症状に変化が認められた場合は早急に主治医に連絡、指示を仰ぐよう徹底しております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後の片付けなど役割を持って頂くよう支援し、個別に嗜好品の購入、日課の行動が安心して行えるよう配慮しております。また、入居者様の状態に応じ、散歩やドライブ、買い物などで気分転換を図れるよう対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の公園やホーム周辺など自由に外出できるよう対応し、買い物、散策、外食ができるよう支援しております。	冬季以外の天気の良い日は、毎日公園に散歩に出かけたり、ドライブや車で買い物に外出している。毎月の個別の買い物やお花見、よさこいソーラン見学、紅葉狩りなど年間を通じて外出できるように支援している。冬季は雪像やイルミネーション見学、ドライブなどに出かけている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様の要望、希望を取り入れ、一緒に買い物に行く機会を持てるよう支援しています。また、定期的にパン屋さんの訪問があり、お好みのものを購入できるよう支援しております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の電話は自由に使用できるようになっており、必要に応じサポートし、取次ぎを行っております。手紙の投函、代筆を行い大切な人との関係継続のための支援に努めております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間、各居室の清掃は毎日行い、入居者様の状況の変化を確認しながら、共有の空間では安心して落ち着くような生活感、季節感が感じられる装飾に配慮しております。	玄関、居間、浴室などの共有空間は広々として開放感があり、手すりなどバリアフリーが充実した造りになっている。居間の大きな窓からは庭の草花や戸外の景色を見渡すことができ、季節感を感じることができる。廊下の壁には季節の装飾や利用者の好きな詩や花の写真を掲示して、ソファーやベンチに座ってゆっくり話をしながら楽しめるような工夫がなされている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーやベンチを設置し、他者の存在を感じながらも独りで過ごせる空間や、気のあった利用者様同士で過ごせる場所、雰囲気作りを心がけております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前使用されていたものでなじみのあるものは持ってきて頂き、ご家族様と相談しながら配置などを考え、ご自分の部屋であると感じ安心して暮らせるよう配慮しております。	居室の入口に造花を飾ったり暖簾をかけ、自分の部屋が分かるように工夫がなされている。家族に使い慣れた家具を持って来てもらうように話したり、住んでいた部屋の写真を撮って来てもらい、可能な限り自宅と同じように居室の家具を配置して落ち着いて過ごせるように工夫がなされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの理解力に応じた対応を心がけており、観察を蜜に行うことでご本人様が混乱、失敗することなくさりげなく支援できるよう配慮しております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム みのり菊水元町		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成22年10月15日	評価結果市町村受理日	平成22年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「とまと館ユニット」に同じ

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170502512&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成22年11月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時よりホーム理念を作り、朝礼では理念を唱和し理念実現に向け日々取り組んでいます。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流バーベキュー、花火大会等、地域の人々が参加できる行事を開催し、ホームからも町内会の行事に積極的に参加しています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	どのように地域貢献していくべきか、どの様にして認知症の方々を理解していただくか町内会の行事や催しに参加したり参加していただく事で話し合う機会をもっています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度グループホームの現状等報告、話し合いを行い、出された意見を参考にサービスに取り入れて避難訓練にも参加していただき近隣の方々に協力をお願いしています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市、北海道で行われている研修、セミナーなどに積極的に参加し、質の向上に取り組むと共に市の担当者とのコミュニケーション作りに努めています。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間以外せず出入りは自由になっており個別に支援できるように努めています。会社内で委員会を設置し、理解を深める様努力しております。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社外の研修に参加し虐待防止について勉強しております。身体拘束とともに、社内に委員会を設置し、虐待が発生しないよう努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会に参加し学ぶ機会を持つよう努めています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	御利用者様、御家族様に対し、わかりやすい説明を心がけ、十分納得したうえで契約していただけるよう配慮しております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、ご家族様のご意見をいただき職員間で話し合い、運営に反映させるよう努めています。また、御利用者様、ご家族様から気兼ねなく意見をいただけるような環境作りに努めております。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議や全体会議を通じて意見を出し合い反映させていくように努めています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員との面談の場を持ち、個々の意見を聞き相談、指導を行い、各スタッフが責任感を持って業務できるよう配慮しています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に社内研修を行い、社外研修にも積極的に参加し向上できるように努力しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修時等に、同業者とのネットワーク作りにつとめ、サービスの質の向上に役立てております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者様の担当スタッフが中心となり、積極的にコミュニケーションを働きかけ、ご本人様のニーズを引き出し受け止められる様、努力しております。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様との電話や来訪時には連絡を密に取り不安なく安心できる「説明と同意」を心がけ、互いに納得できるまで、お話ができるようにしています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族様とご本人様のお話がしやすい環境をつくり相談を受けた時は速やかに対処しスタッフに通知。ご家族様のお考えや、要望を理解し、ゆっくりと受け止められるように努めております。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>個々にあったお手伝いや習慣を支え、日常の中で喜怒哀楽を共有し、家庭的な関係性を築けるよう努力しています。</p>		
19		<p>本人を共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>アセスメントの記載にご協力いただき、ご家族様、入居者様の希望や悩みをお聞きし、一緒に悩みながら安心して生活出来る様な答えを出し、室内行事、外出行事などにお誘いし、ご家族様と共に入居者様を支援できるように努めています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族様の協力により、以前住まれていた自宅への訪問や、知人との面会、電話連絡等、お互いに支えあえる関係作りに努めています。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>共有スペースの使い方や、入居者様間の人間関係に配慮し、必要に応じた見守りを行い、入居者様同士がお互いに支えあえる関係作りに努めております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後(死去退去含む)も、お花や葉書を送ったり、ご家族様との関係を大切にしております。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との日々の関わりの中で表情や思い、意向を把握し、不安や不満を取り除けるよう努めています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前から情報を頂き、馴染みの家具や置物が持ち込み、家族の写真や趣味の物などを貼られたり、その人らしく過ごせる様な環境作りを努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントを立て、入居様様の生活を観察し、記録を残して、スタッフ全員で現状を把握できるよう努めています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居当初、担当職員が家族、関係者から本人の情報を収集し、スタッフ、ケアマネ、かかりつけ医と話し合いセンター方式を利用して、完成した計画書をご家族に説明し同意を得ている。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づいた点や、普段の何気ない様子などの情報を集めて記録に残しサービスの見直しや次の計画のヒントにしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診、宗教活動の参加への支援、お墓参りへの同行等、個人のニーズに合わせ支えております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会との関わりの中で、入居者様の能力を発揮できる場面を作るよう努めております。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科医往診と週1回の訪問看護又、月2回の歯科医の訪問診療があり、受診体制を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師往診の際、状況を報告、相談し、指示をいただき入居者様の健康管理を行っております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院された際は、お見舞いに伺いご本人様の状態を把握。お話しして安心して頂ける様に対応。ソーシャルワーカーさん、ご家族様と情報交換を行い早期退院を目指しております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り、重度化に対しての指針をもうけ、ご家族様スタッフと方針を共有し取り組んでいます。医療機関ともいつでも連絡が取れる体制になっております。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を定期的受講し、どのように対応すべきが学習しています。緊急時は、担当医、ホーム長に指示を仰ぎ対応しております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防点検、避難訓練(夜間・日中を想定)を実施。町内会の方々にも参加して頂き、体制を作り連絡網を作成しております。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マナー研修等で、接遇を学び記録の管理についても人目のつかない所に置く等、個人情報の取り扱いには十分に注意しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各入居者様に合わせた対応を行い、希望を表出しやすい様な環境作りや声掛けを支援しております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務が優先しないよう努力し、個人の生活に合わせ安心できる環境づくりに努めております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を利用し、皆様個性に合わせてカット・パーマ・毛染め等行っております。買い物も個人に合ったものを購入し、希望があれば一緒にお店へ行き購入しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は入居者様の好みを取り入れ、誕生日には出前や外食など計画し楽しんで頂いております。お手伝いのできる方にはセッティングやおしぼりの用意、盛り付け、食後のテーブル拭き等を行ってもらっています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量・食事量を記録しながら、支援、提供しています。介助の有無、食事形態や量な個々にあった方法で提供出切る様に配慮し支援しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月に2回の歯科往診で口腔内のチェックを行いアドバイスをいただき、自力でケアが困難な方には介助を行い、支援しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様に合わせて排泄パターンを探し出切る限りトイレで排泄して頂ける様に支援しております。夜間ポータブルトイレを使用している方も、日中はトイレを使用していただいております。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床後や就寝前に乳製品を提供しております。排便の有無を記録に残して、繊維質の多い食材を提供し、便秘予防に努めております。必要に応じ医療機関と連携を図り薬の処方をしていただいております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時間、入浴剤などのご希望をうかがい、その日の状態に合わせて浴槽台等利用し、個々に合った入浴を楽しめるよう支援しております。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お疲れが見られる際は、居室で横になっていただいたり、その方にあった生活リズムの見直し、その人にあった寝具や環境作りができるよう支援しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の準備後、2名でチェックし、服薬後の確認も別のスタッフが行ってあります。お薬の情報書を確認し、安全な服薬の支援を行っております。異常が見られた時はすぐ主治医に連絡し指示が頂ける様になってあります。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各入居者様の楽しみを把握し、個々で居室で飲食される嗜好品の購入、レクレーションやお手伝い、四季の行事を提供、個別で買い物や散歩、ドライブをして気分転換等の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近隣の公園へ散歩、ドライブ、お買い物等、入居者様のご希望を聞きながら、できる限りご希望にそった外出を考えております。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>その人の能力に応じ、所持していただいています。訪問販売の商店やパン屋で購入されたり、店に買い物へ行ったりとお好みの物を購入できるように支援も行っております。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>スタッフルーム内にある電話機はご自由に使用していただいたり取次ぎもしております。入居者様のプライバシーに配慮しつつ、手紙の代筆、投函なども行っております。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清掃は毎日行い、共有スペースは季節のディスプレイや観葉植物等を設置し、入居者様にゆっくりと過ごして頂ける様に配慮しております。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングに食卓テーブルやソファ、廊下のソファに他者と会話する環境や1人で過ごせる環境を作り心掛けております。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談して慣れ親しんだ品物を持ち込みご自分のお部屋であると認識していただけるように配慮し、安心して生活できるよう支援しています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご自分での洗濯や料理のお手伝い等が自由に行えるよう配慮し、混乱や失敗する事が無い様に支援できるよう努めております。</p>		

目標達成計画

事業所 グループホームみのり菊水元町
作成日：平成 22年 11月 10日
市町村届出日：平成 22年 11月 25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	カンファレンスは更新時に行っているも、記録に詳細を載せていない。ご家族様にも確認はしていただいていたが、介護計画を作成する過程での意向の再確認を取っていなかった。	作成の過程が見て分かりやすい書式を作成する。	他の事業所からの情報を聞き、各ユニットの会議時に日々の記録からモニタリングしご家族様の意向を取やカンファレンス時の内容を、箇条書きに分かりやすく記載できる書式を作成。	3ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。
注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。